



やなぎしましょう 柳島小だより

令和5年 10月31日
茅ヶ崎市立柳島小学校
校長 赤池 理

学校教育目標 — 21世紀を担う柳島小学校の子どもたち —
豊かな心を持ち、意欲的にたくましく生きる子どもの育成

今年もあと2か月となります。新聞天気図は11月から冬用に衣替えとなるそうです。夏用は、南から高気圧の広がりや台風の接近に合わせて南側(太平洋側)を広くとり、冬用は大陸からはみ出る高気圧や寒気の影響を受けるため北側を広くとるとのことです。ところが、11月に入ってもまだまだ夏日(気温25度以上の日)がありそうとの予報が出ています。一方で、朝晩はかなり冷え込んでくるようになりました。(富士山はあっという間に雪化粧となりました。)気温の寒暖差があり体調管理がとて大変になってきますが、くれぐれも風邪などひかないようにしてほしいと思います。と書いていますが、10月末にはインフルエンザの罹患者が増え、とうとう2学級が学級閉鎖に入ってしまった。具合が悪くなったら無理をせず、まず回復を心がけてください。

読書の秋

10月6日に前期が終了し、5日間の秋休みをはさんで12日からは後期が始まりました。後期の始業式では子どもたちが読書好きになってもらいたく、1冊の本からお話の一つを紹介しました。そのあと、「あの本はどこにあるの?」「あの話、おもしろかったよ。」「続きはどうなっているの?」などの声も聞かれました。秋の夜長、ゆっくりと本の世界に浸ることもおすすめします。さらに学校で、ほんの少しの時間でもあれば、自然と本を開けるようになってほしいと思っています。

みのりの秋

学校の田んぼでは今年も稲がたわわに実り、5年生が稲刈りを行いました。普段はあまり持つことがないであろう鎌を手に、みんな一生懸命に働いていました。収穫した後はスズランテープでしばり、逆さに干して乾燥させています。この逆さに干すことにより茎のところに残っている栄養をお米に余すことなく落とし、効果と、ゆっくりと水分を抜くことで甘みのあるお米に仕上がると言われています。



1,2年生は地域の方からお借りしている畑で芋ほりをしてきました。これまで管理をしていただいたおかげで、とても立派なサツマイモがたくさん育っていました。掘り出してみると、あまりの大きさにびっくりするほどでした。また、お芋は掘ってすぐに食べるのではなく、しばらく寝かせた方が甘みが増し、もっとおいしくなるとも教えていただきました。でんぷんが分解されて糖に変わるので甘くなり、食感もほくほくになるそうです。



当日は保護者の方にも参加していただき、つるのリース作りのお手伝いもしてもらいました。